

第5回 DX 勉強会報告書

開催日時	令和7年1月23日 13:30~15:30
会場	BAMAC 蔦進ベース
テーマ	地元愛媛県の企業のDX事例発表
参加人数	33名（会場参加：27名、オンライン参加：6名）
登壇者	<p>檜垣造船株式会社 経営管理部 経営企画室 上席主任 吉井 美佳 経営管理部 総務課 主任 喜多 椋平</p> <p>タイトル「kintone 導入がもたらした企業変革とその未来」</p> <p>株式会社日本エイジェント 経営企画部 チーフマネージャー 戸田 昭仁</p> <p>タイトル「DX 推進による生産性アップの事例」</p> <p>株式会社三五屋 企画・開発部 部長 奥田 善隆</p> <p>タイトル 等身大アバターを使って遠隔地から操作し、 リアルタイムにコミュニケーションを図るシステム「Monolis」の紹介</p>

各社の発表内容

檜垣造船株式会社

タイトル：kintone 導入がもたらした企業変革とその未来

システム導入前は「超」アナログ企業であり、社内は紙の書類だらけであった。一部社員がインターネット構想を提案するも導入されず。経営体制の一新を契機にサイボウズ kintone を導入。導入当初は社員の抵抗も多く浸透しなかったが、様々な工夫・施策を行う事により数年がかりで社内に浸透し、いつの間にかペーパーレス化も進み、アナログ企業から脱出。

今では、kintone と基幹システムを連携し、更には 3D CAD・生産管理システム等も導入中であり、国土交通省の事業認定も取得。DX 導入には明確なビジョンと最適なシステムが重要だと説明した。

株式会社日本エイジェント

タイトル：DX 推進による生産性アップの事例

事例① 駐車場の非対面仲介の実現

駐車場は良い場所であれば、現地確認や写真確認だけで決めるお客様も多く、電話の問い合わせ対応や車庫証明書類の発行、紙の書類による申し込み・契約書の作成に時間を要していた。

現地看板に電話番号を掲示することを止め、QR コードを表示する事により、申込み・空き待ちの予約が自動化され、車庫証明書類は Web 手続き・ダウンロードで来店不要となった。また電子申込み・電子契約に変更して大幅に簡略化された。

事例② 写真撮影業務の効率化

賃貸住宅の集客は Web が 70% を占めており、Web に掲載する写真の品質が集客に大きく影響している。従来はデジカメで室内写真を撮影後、事務所に戻りパソコンに写真を取り込み、色補正・明るさ補正等を行うため、Web 掲載は翌日となり Web 掲載に時間を要していた。

スマホで写真を撮影し、その場にてスマホ上で色補正・明るさ補正等を行い、リアルタイムにインターネットに公開できるシステムを導入。更に室内をウォークスルーできるようになり、契約数も大きくアップ。

事例①②共に、当初からスムーズに行えたわけではないが、スタッフの共感を得る事により、また部分的にスタートし、まずは実績を作る事で、少しずつ浸透し効果が上がっている。

株式会社三五屋

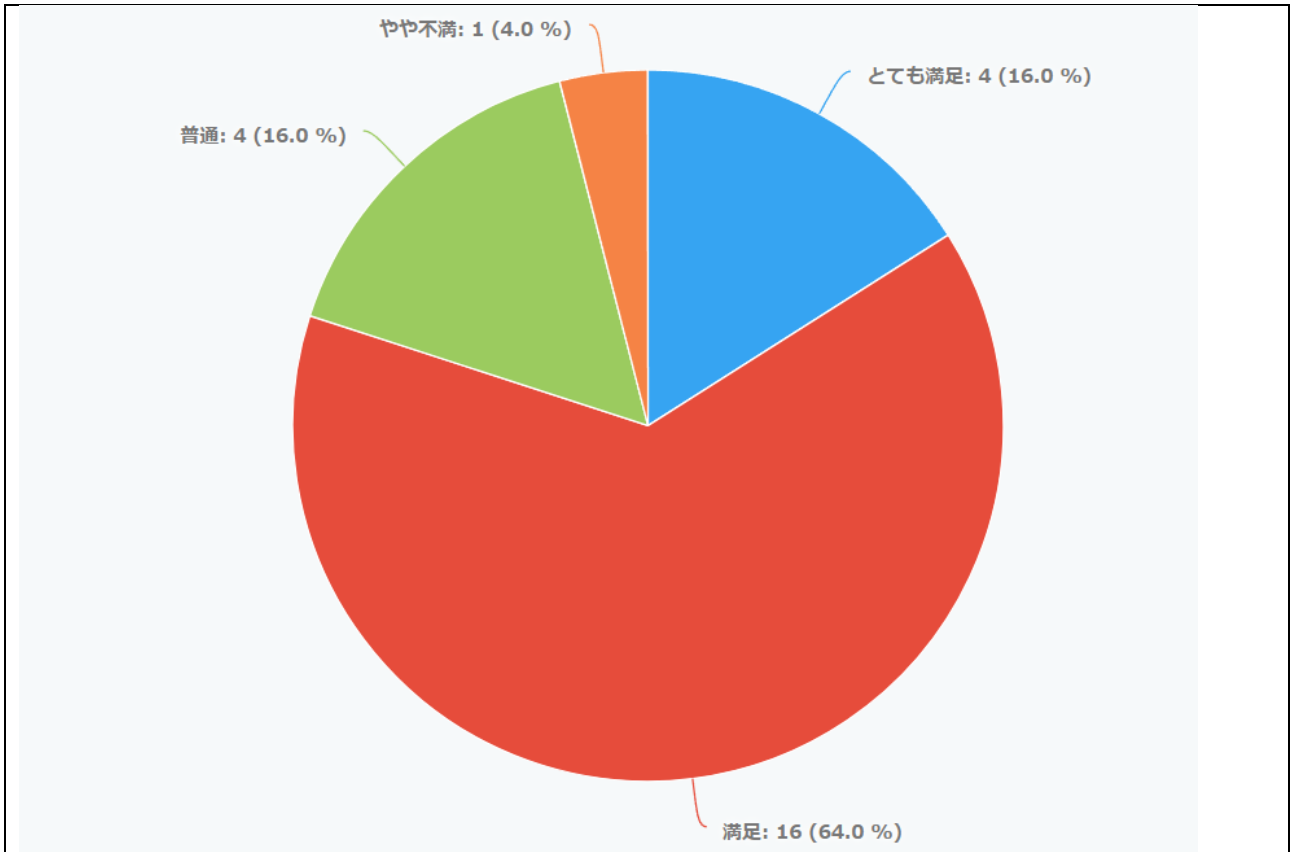
タイトル：等身大アバターを使って遠隔地から操作し、リアルタイムにコミュニケーションを図るシステム「Monolis」の紹介

等身大アバターコミュニケーションとは、等身大アバターを遠隔地から操作し、リアルタイムに身振り手振りを交えた会話によるコミュニケーションができるシステム。アバターを活用してバーチャルとリアルを繋ぐことにより、外出できない方が活躍できるようになり社会課題の解決につながると思っている。

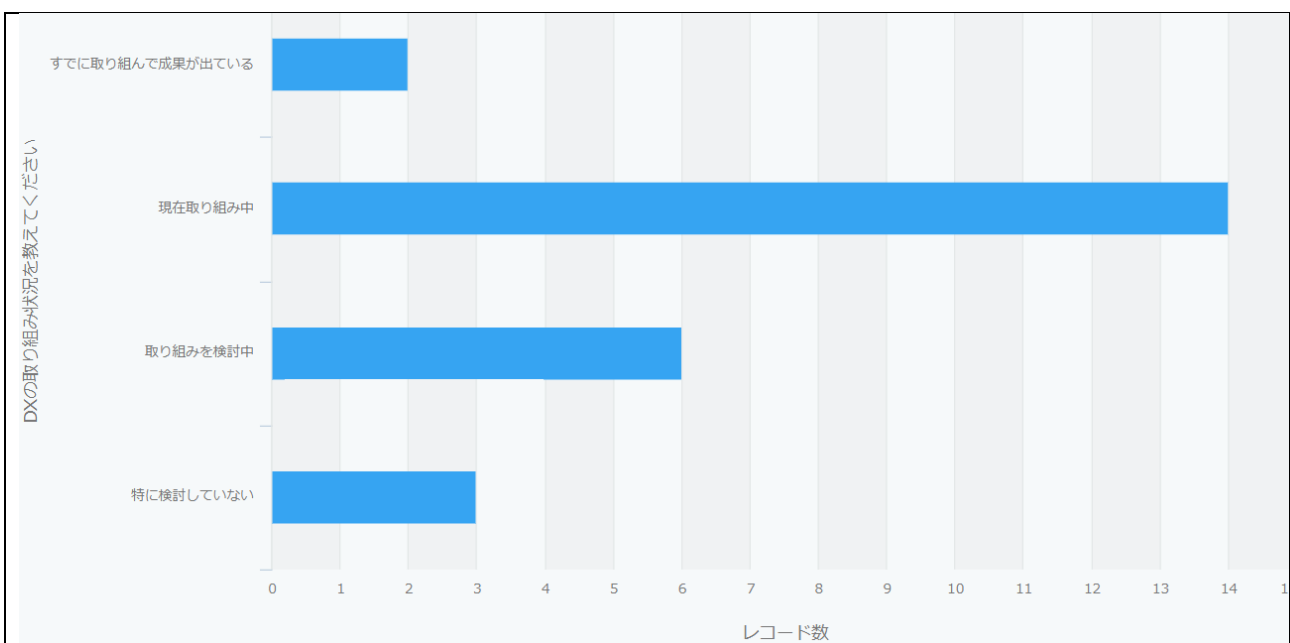
2025 年大阪・関西万博にもサプライヤーで参加。

アンケート結果

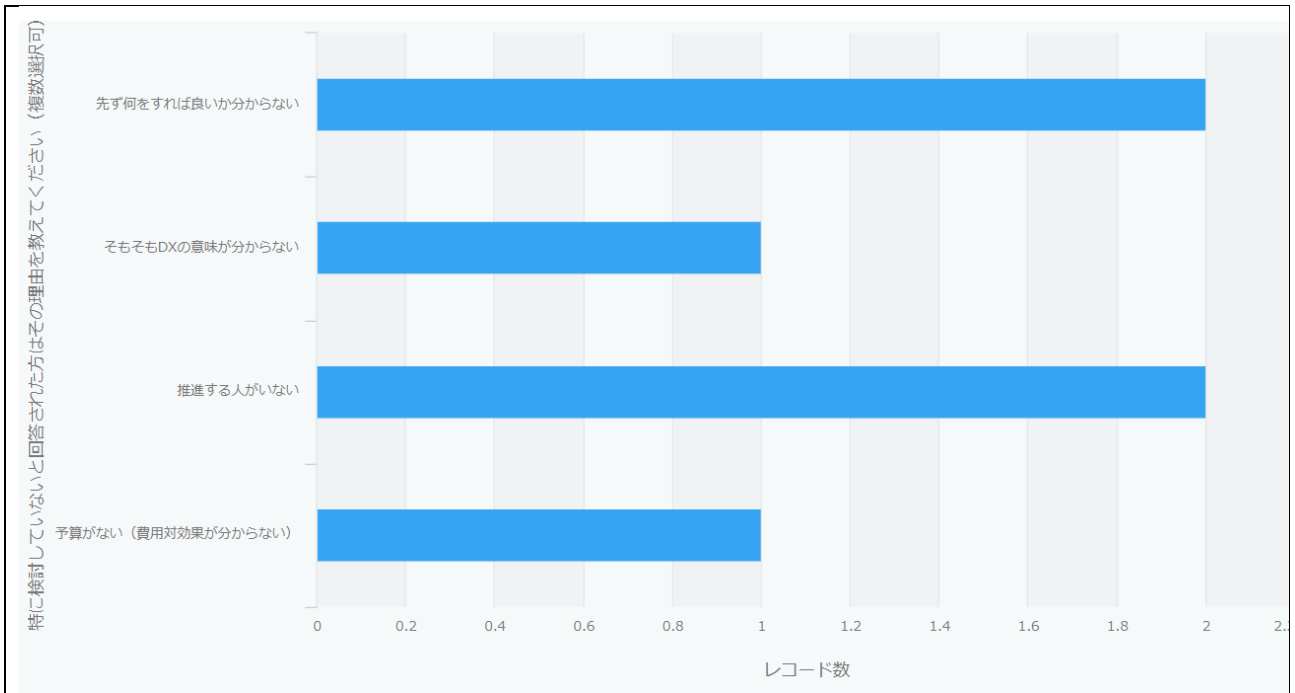
- ① 満足度
- ・ とても満足：4名（16.0%）
 - ・ 満足：16名（64.0%）
 - ・ やや不満：1名（4.0%）
 - ・ 普通：4名（16.0%）



②DX の取り組み状況

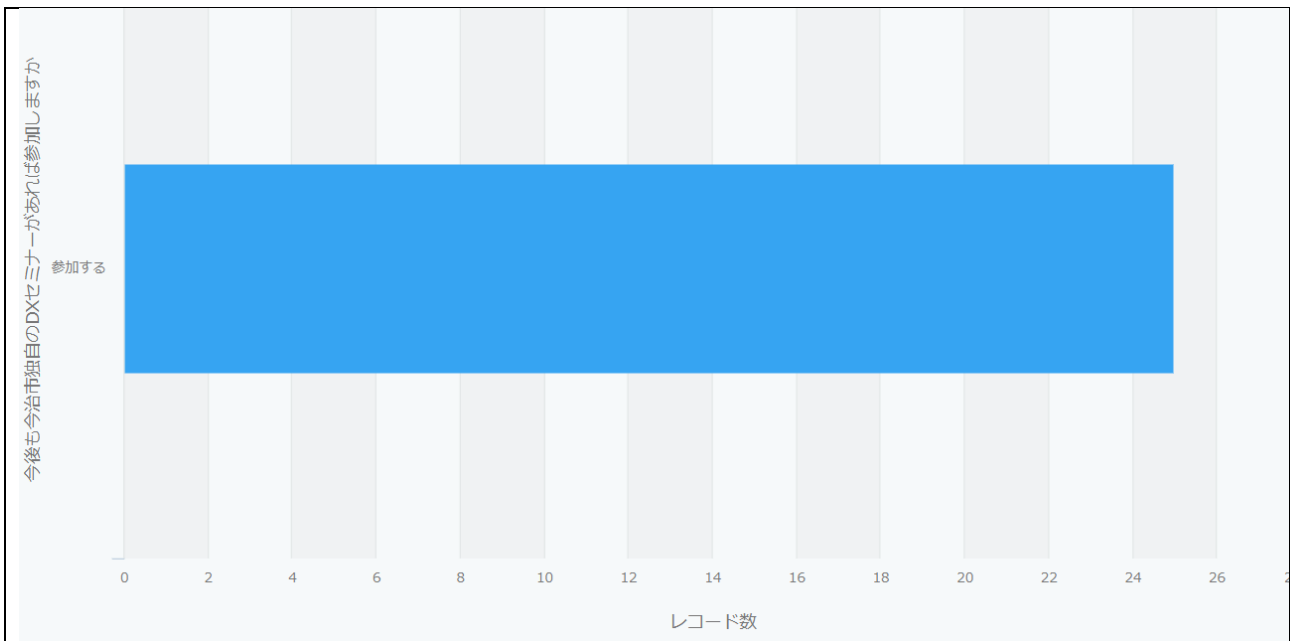


③検討が進まない理由



④今後も今治市独自の DX セミナーがあれば参加しますか？

- ・ 参加する : 25 名 (100%)



⑤ 感想

- 当日のアジェンダや資料等があれば良いと思う。
- ノーコードツールの具体的な利用情報を得たかった。
- やりたいことは色々あるが、それを言語化することは難しい。
- DX 導入の際、資金の問題がある。
- マスターデータをノーコードツールに置いて基幹システムに取込むということはとても刺激になった。
- 実際に社会実装されている事例が見られて良かった。
- 社内での進め方、DX 推進時の要点は参考になった。
- 現状の事務作業や、社内で蓄積されているデータをより有効活用していくためのヒントを得られた。
- リアルな事例を聞いたので良かった。
- DX の様々な事例や、新しいサービスを知ることができた。
- 地元企業の具体的な DX 事例を聴かせていただき、大変参考になった。
- DX 導入の利点が想像していたよりも多く、いろいろ勉強になった。
- 同じ業界の話をお聞かせいただきありがとうございます。
- 知らない事ばかりで、大変勉強になった。



03 DX推進課の仕事

DX認定取得

DX認定制度（情報処理の促進に関する法律第三十一条に基づく認定制度）

DX認定

補助金

松山市DX推進補助金 募集案内

生産性向上及び人手不足の解消等を図るため、市の補助金を活用し、先進的にDX技術を活用する企業を支援する中小企業者を募集します！

松山市DX推進補助金の概要	
補助対象者	<ul style="list-style-type: none"> ○市内に事業所を有している中小企業者（法人を含む） ○ただし、次のいずれかに該当する者は、補助対象者となることができません。 <ul style="list-style-type: none"> ① 今年を満了している過年度の事業について、他の制度による補助金又は支援金を受けている等、当該事業の推進として既に補助金を受領している者 ② その他、審査要領をご確認ください。
補助対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ○補助対象となる経費は、次のとおりです（補助対象経費に限りません。）、※消費税及び地方消費税に相当する額を含まず。 【補助対象経費】 <ul style="list-style-type: none"> ▶ ソフトウェア、システム等の購入費、構築費、利用料等 ▶ クラウドサービス、WEBプラットフォーム等の利用料等 ▶ コンサルティング業務に関する委託料、謝金、報酬等 ▶ 機器・ツール等の購入に要する外注費等 ▶ 他の制度に併用しない研修費、機器等の購入費等 ▶ その他、申請書に添付書類を添付し、ご確認の上、ご申請ください。 ※上記補助対象経費であっても、要件により別項と異なる場合があります。※詳細は、審査要領をご確認ください。
補助金の額	補助率 1/2、上限 200万円（平均補助額約70万円）
補助料	3万5千円
募集期間	令和6年7月1日（月）～令和6年9月30日（月）（申請）